

北神けいろうの国政報告：9月号

日頃より大変お世話になっています。

民主党の代表選が今月14日に行われます。私は、松井孝治参議院議員と一緒に、「政策論議による代表選挙を実現する会」を立ち上げました。各候補者間の政策論議をもっと活発にしなければならないというのが本会の趣旨です。

具体的には、9月10日金曜日に菅さんと小沢さんとの公開討論会を開催します。議員や国民から疑問に思われている課題について、中立の司会者によって議論を戦わすこととなります。例えば、菅総理は雇用が大事だと主張しているが、雇用対策でどうやって景気が良くなるのか。あるいは、小沢さんはマニフェストをそのまま実行すると言うが、具体的な財源についてどう考えているのか。

いずれの候補者が代表になって、総理大臣になっても、日本の経済や社会保障などの問題が山積しています。これらをどうやって解決して行くのか、こうしたことが分からなければ、自信をもって選択することができません。また、どちらが総理大臣になっても、「ねじれ国会」の中で、国会運営もきわめて厳しい。どうやってこれを乗り越えて行くのか、具体的な道筋が見えていません。

こうしたことについて、少しでも明らかにするために、奮闘して参りたいと思います。

私自身、もちろん、この政策の議論を踏まえて判断します。しかし、基本的な考え方は、前月号でも申し上げた通り、総理大臣をコロコロ変えるべきではありません。私は、初当選させていただいてから、前原代表を支え、小沢代表を支え、鳩山代表を支えてきました。よほどの失敗がない限り、自分たちが選んだ代表をしっかりと支えるのは、当たり前の話です。

わずか三ヶ月前に私も菅さんに投票をしました。それ以来、総理は参議院選挙しかしていないような状況です。たしかに、この選挙は大敗はしましたが、これは総理を変えてほしいという民意ではなく、民主党全体に対する批判であります。こうした中で、たった三ヶ月しか総理大臣をしていない菅さんを引きずり降ろすことは如何なものか、こんなことをしていたら、いつまでたっても政治が安定しません。

もう一つご報告申し上げます。円高が急速に進みました。これはせつかく回復しつつある経済に水をさします。私は今、経済産業委員会部門会議の座長を務めています。緊急経済対策として、エコポイント制度の延長、学校や病院の耐震化事業、国内の工場の立地補助などを提案しています。近いうちに、菅総理も正式な内閣の方針を打ち出します。代表選挙でお騒がせしていますが、一方で、総理には本来の仕事をしてもらわなければなりません。

皆様のご意見も聞きながらしっかりと頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。